

WA

DA

I

NA

MI

KI

RI

SA

RO

N

第117回 わだい浪切サロン

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

高齢期の地域生活を考える

～ドイツの「多世代の家」から～

話題提供者 ^{むらた}村田 ^{じゅんこ}順子氏

和歌山大学教育学部 教授（住環境学）

2000年に介護保険制度が施行されてから来年で20年になります。日本の介護保険制度は、ドイツの介護保険制度に倣ったと言われていますが、実情はどうなのでしょう。ドイツの介護保険制度について簡単に紹介します。

また、日本と同様少子高齢化が進むドイツでは、2006年より連邦政府主導で地域の社会的交流の場「多世代の家（Mehrgenerationenhaus）」の整備が進められてきました。高齢者が住み慣れた地域に暮らし続けていくための取り組みについて、事例をもとに紹介します。

日本とドイツを比較しながら、高齢期の地域生活について考えていきたいと思えます。

参加無料
申込不要

日時

2019年 11月 20日 水 19:00～20:30

場所

岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ先

和歌山大学 岸和田サテライト

岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

Tel & Fax : 072-433-0875

【E-mail】 kishiwadastaff@ml.wakayama-u.ac.jp



南海本線「岸和田」駅下車 徒歩約10分

駐車場有（終日無料）



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日（2月と8月を除く）の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみなさまに身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。参加費は無料、どなたでも参加いただけます。